

参考資料

令和7年1月7日
徳島市消防局

令和6年における徳島市の火災・救急概要（令和5年との比較）

【火災について】

出火件数は80件（対前年比12件増、17.6%増）となっております。
なお、焼損面積は減少し、損害額は増加しています。
また、火災による死者数及び負傷者数ともに増加しています。

【救急について】

出動件数は14,817件（対前年比376件増、2.6%増）、搬送人員は13,047人（対前年比484人増、3.9%増）となっています。

◎ 出火件数は80件、対前年比12件の増加

出火件数は80件となり、前年に比べると、12件の増加となっています。これは約4.6日に1件の割合で火災が発生したことになります。

◎ 焼損床面積 1,393㎡ 前年より減少 損害額 133,270千円 前年より増加

建物の焼損床面積は1,393㎡となり、前年に比べると、500㎡減少しています。

損害額は、133,270千円となり、前年に比べると、31,437千円の増加となっています。

なお、調査中の火災は除いています。

◎ 出火原因の第1位は「たばこ」

出火原因別にみると件数の多い順に、「たばこ」が13件（対前年比2件増）、「たき火」が9件（対前年比2件減）となっています。

◎ 火災による死者は3人、対前年比1人増加、負傷者は13人、対前年比2人増加

死者は3人（対前年比1人増）で、すべて住宅火災で発生しております。

負傷者は13人（対前年比2人増）となっています。

☆ 救急出動件数及び搬送人員は過去最多

救急出動件数は14,817件、搬送人員は13,047人となり、前年に比べると、出動件数は376件の増加、搬送人員は484人の増加となっています。

1日の平均出動件数は約40件であり、これは約36分に1回の割合で出動したことになります。

なお、これまでの救急出動最多件数は、令和5年の14,441件で、搬送人員は12,563人でした。

☆ 事故種別出動件数

事故種別の内訳をみると「急病」9,398件（構成比：63.4%）、「一般負傷」2,187件（構成比：14.8%）、「転院搬送」1,527件（構成比：10.3%）となっています。